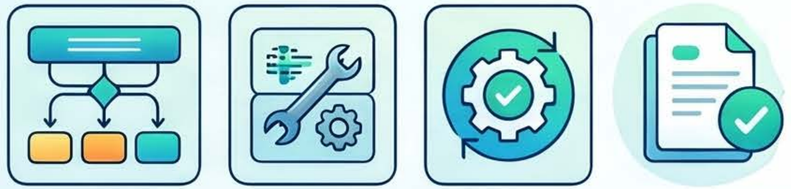
Manus 2.0 vs LLM API：エージェントシステムと基盤モデルの選定ガイド

Manus 2.0は単なるLLMではなく、仕事の完了を目指す「エージェント・システム」です。一方、GPT/Claude/Geminiは「基盤モデルAPI」であり、両者は製品レイヤーが異なります。自社で求められる制御性と委譲度のバランスに応じた選択が重要です。

Manus 2.0 (エージェントシステム)

構造と役割の根本的な違い

Manus 2.0は「成果物を完成させる実行システム」



目的別の最適な導入判断

「業務を丸ごと委譲」したいならManus 2.0

調査からコード・動画・Web操作などの成果物作成まで自動化。





ハイブリッドアプローチ



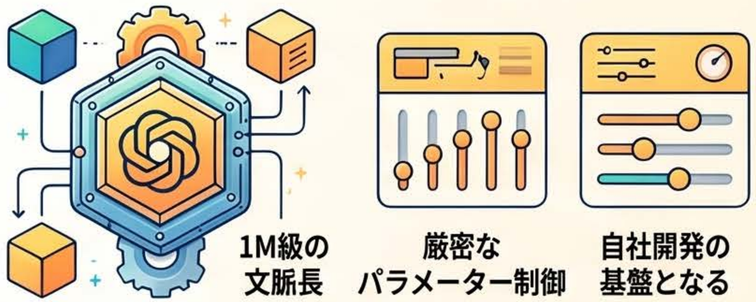
ハイブリッドを実現する「Manus Flex」

Agentの実行インフラと外部モデルAPIを自由に組み合わせて活用可能。

LLM API (基盤モデル)

構造と役割の根本的な違い

GPT/Claude/Geminiは「制御性の高い基盤モデル」



目的別の最適な導入判断

「自社サービスへの組み込み」ならモデルAPI

トークンコストや応答の透明性、セキュリティ権限を細かく制御可能。





Gemini Notebook